

オアシスだより

第23号 平成26年10月1日発行

部署紹介・その22 有料老人ホーム
オアシスホーム1

「心身症って何??」

心身症という言葉はご存知でしょうか？ 心の病では?といった誤解が多いようです。そこで、ある心身症の患者さんのお話を紹介します。

A子さんは高校3年生。成績もトップクラスで、弓道部のレギュラー。生徒会の副会長。誰もが認める「模範学生」。でも毎日のように腹痛と下痢に襲われるようになりました。学校を遅刻する日が多くなったので、内科で検査しましたが異常はありません。もともと元気な模範学生だっただけに、両親も深刻に悩みます。「がんばれ!」「甘えるな!」といった声かけもむなしく、やがて不登校となってしまいました・・・

A子さんのお話を聞くと、A子さんは涙ながらに「みんなの期待にそむかないように必死にがんばった」「お腹が痛くても痛いと言えなかった」と話してくれました。模範的なよい子という周囲の評価・期待を裏切らないように懸命に努力し、耐えてきたのです。それにもかかわらず学校に行けなくなったA子さんの苦しみは、察するに余りあるものに思われました。

A子さんの場合、強い不安・緊張の長期間にわたる持続が、腸の動き方を悪くする「過敏性腸症候群」になっていると考えられました。この病気は心身症の中で多く診る疾患の一つです。

心身症というと「心の病」という印象があるかもしれませんが、この文章を読んでA子さんの心が病んでいると感じる人は殆どいないと思います。A子さんは決して弱音をはいたり、なまけているわけでもありません。むしろ人一倍に頑張りながら、苦しみを必死に耐えています。心身症の患者さんでは、真面目、模範的、頑張り屋、頼まれるとイヤと言えない、人によく気を遣う、といった傾向が多く見られます。心や体から様々なシグナル

(A子さんの場合は、不安、腹痛、など)があるにもかかわらず、それを抑えて周囲の期待に応えようと無理な努力を行う結果、ストレスや疲労が蓄積してゆき、最終的にからだの疾患を発症させてしまうのです。心身症の患者さんは、励ますのではなく、ゆっくりと休養をとり、本人だけでなく医師を含めた周囲の人々が、心身の苦しみを理解し受容することが治療のポイントになります。

表に代表的な心身症を示します。ほとんどの場合、通常の内科的治療だけで対応可能ですが、なかなか良くならないときは心身症としてストレスへの対応が必要になるかもしれませんので、医師に相談してみましょう。

代表的な心身症

呼吸器系：気管支喘息、過換気症候群など

循環器系：高血圧症、狭心症など

消化器系：胃・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、呑気症、心因性嘔吐など

内分泌・代謝系：神経性食欲不振症（拒食症）、神経性大食症（過食症）、糖尿病、心因性多飲症など

神経・筋肉系：筋緊張性頭痛、片頭痛、自律神経失調症など

その他：円形脱毛症、慢性蕁麻疹など



オアシス第一病院
副院長 小手川 勤



有料老人ホームオアシスホーム1は定員20名で、ご入居者にとって「ご自宅」になる事を目指し、家庭的な雰囲気のもと、ゆったりのんびりと過ごしていただけるよう努力しています。

職員の目が行き届きやすいワンフロアの食堂では、ご希望に応じて、カラオケ・将棋・囲碁なども楽しんでいただいています。

ご家族の思いを大切に、笑い声が広がるように、暮らしをサポートしていきます。

管理者 田中みき子



お問い合わせ

医療法人善昭会

オアシス第一病院

〒870-0103 大分市東鶴崎3丁目3-19

電話 097-527-2211 Fax 097-522-0511

